

所報 いぶり

胆振教育研究所

第3号

令和2年9月17日発行



研究委託校・実践校の紹介



豊浦町立豊浦小学校

今年度の公開研究会は中止

本校は、道徳科を研究領域とし、4年計画で研究を進めています。

4年次であり、まとめとなる今年度は、これまでの実践の積み重ねを生かし、児童がいかに考え、いかに議論(自分の思いや考えを伝える・友達の考えを受け止める)することができるかについて検証を進めています。展開後段となる議論の時間を確保し、より有意義な時間とするために、教材の事前読みやワークシートの効果的な活用、構造的な板書による思考の整理などに取り組んでいます。また、事前アンケートを活用し自分事として捉えたり考えたりする工夫も合わせながら、ねらいに向かって研修を深めています。

**関わりやつながりの中で自己の生き方について
考えを深められる児童の育成**

～考える道徳、議論する道徳の授業づくりを通して～



3年道徳科 「ともだちや」
ワークシートを活用して意見交
流をしているところ



6年道徳科 「ロレンゾの友達」
思考を整理しながら板書してい
るところ

洞爺湖町立洞爺湖温泉小学校

公開研究会：11月6日(金)

本校では、研究主題を『基礎・基本を身に付け、自ら学ぶ子の育成』として、主体的・協働的な学習を目指して算数科の授業づくりを中心に研究を進めています。通常学級ブロックでは「学びを深める工夫」を今年度の重点として「教科書を利用して自分で学習を進める」「児童が自分たちで授業を進め、自分たちで課題を解決する等の話合いの場の設定の工夫」に取り組んでいます。そして、特別支援学級ブロックでは、進んで考え、「わかった!」と楽しめる授業を目指す方法を研究していきます。

基礎・基本を身に付け、自ら学ぶ子の育成

～算数科における主体的・協働的な学習を目指して～



全学年 「防災教室」
有珠山西山火口で学習のポイン
トを聞いているところ



全学年 「緑はどうなった?春」
有珠山噴火で失われた緑を復活
するために植樹しているところ

白老町立白翔中学校

今年度の公開研究会は中止

昨年度からの継続で、「学習指導過程」のそれぞれのねらいや役割を踏まえた授業づくりに重点的に取り組むとともに、昨年度の反省から「指導と評価の一体化」に重点を置いています。また、生徒が授業で理解していても、定着が不十分という実態から、学んだことを家庭学習として取り組むことができるように「終末と家庭学習との関連付け」ということに配慮しています。

今年度は、校外での研修の機会が少ないので、指導主事による要請訪問を行い、「指導と評価の一体化」についてご講義いただいたところです。

主体的・対話的に学ぶ生徒の育成
～秋田型授業をモデルとした授業改善を通して～



3年数学科 「平方根」
自分の考えを発表しているところ



3年保健体育科
「バスケットボール」
タブレットでシュートフォームを撮影しているところ

安平町立遠浅小学校

今年度の公開研究会は中止

遠浅小学校は、今年度のテーマを「複式学級を有する学校の特性を生かした学習指導の深化・充実を目指して」、サブテーマを「少人数でも主体的・対話的で深い学びを実現するための指導の工夫」として研修しています。

学習形態を工夫し学習形態に応じた学び方を育てることで自主学習力や協働的学習力を高め児童を主体的・対話的に学ばせる指導方法、および、児童の学びの系統性を明らかにし学習過程の組み合わせや評価の方法を工夫することで間接指導の効果を高め児童の学びに深まりを生むための指導を研究しています。

**複式学級を有する学校の特性を生かした
学習指導の深化・充実を目指して**
～少人数でも主体的・対話的で深い学びを実現するための指導の工夫～



6年国語科
「情報と情報をつなげて伝えるとき」
ホワイトボードに書かれた意見を黒板に掲示して、全体で意見交流しているところ



5年算数科 「小数のわり算」
ホワイトボードを使って、小グループで意見交流しているところ

むかわ町立宮戸小学校

今年度の公開研究会は中止

本校では、研究主題を「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の研究～論理的に考える力の向上を目指して～として、1か年計画で研修を進めています。言語能力は全ての教科等における基盤となるものであると考え、言語環境を望ましい状態に整え、複式学級における「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善に努めています。問題の解決には必要な手順があることに気付き、筋道を考えて計画的に学習活動に取り組もうとする児童の育成を目指しています。

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた指導法の研究
～論理的に考える力の向上を目指して～



2年生活科 「ようこそ1年生」
学校内を探検して気が付いた
ことを発表しているところ



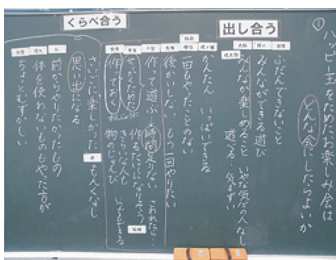
5年外国語
「When is your birthday」
児童がALTの英語の質問を聞き、
その答えを英語で発表しているところ

厚真町立上厚真小学校

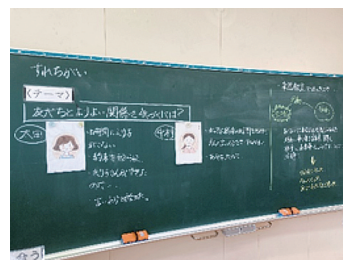
次年度公開研究会予定

厚真町立上厚真小学校では道徳科を中心に授業改善を進め、教科等との関連、特に特別活動との関連を重視した道徳科について研究を深めています。道徳グループ、特別活動グループ、自立活動グループの3つのグループに分かれ、道徳科で学習した価値について特別活動等で深めたり、教科等で学習したことを道徳科で活用したりする方法について研究を進めています。また、道徳科の重点内容項目と関連させて特別活動においても重点項目を設け、一貫した指導ができるよう工夫しているところです。

自分の考えをもち、主体的・協働的に学ぶ子供の育成
～道徳科と教科等のつながりを意識した授業づくり～



4年特別活動
「お楽しみ会の計画」
子どもたちの意見をまとめた板書



5年道徳科 「すれちがい」
授業の流れを明確にした板書

前回の5分間ミニ研修では、主体的・対話的で深い学びとはどのようなものを、平成28年の中央教育審議会答申からお伝えしました。今回は、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善について考えていきたいと思います。

北海道教育委員会発行の「令和2年度 教育課程編成の手引」には、主体的・対話的で深い学びを実現する児童生徒の姿を次のように記しています。

【主体的な学び】

興味をもって学習に積極的に取り組むとともに、学習活動を自ら振り返り、意味付け、身に付いた資質・能力の自覚を共有します。

【対話的な学び】

身に付けた知識や技能を定着させ、物事の多面的で深い理解に至るため、多様な表現を通じて児童同士が対話し、それによって思考を広げ深めています。

【深い学び】

各教科等の学びの過程の中で身に付けた資質・能力を活用・発揮しながら物事を捉え、思考することで、資質・能力をさらに伸ばし、新たな資質・能力を身に付けています。

では、このような児童生徒の姿になるために、私たちはどのような授業改善ができるのでしょうか？国立教育政策研究所の「主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善の視点について」の授業改善に向けた『授業者』の視点には、次のように記されています。

主体的な学び

- ・ 既習事項を振り返る
- ・ 具体物を提示して引きつける
- ・ 子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する
- ・ 子供が自らめあてをつかむようにする
- ・ 学習課題を解決する方向性について見通しを持たせる
- ・ 子供が自分の考えを持つようにする
- ・ 子供の思考を見守る
- ・ 子供の思考に即して授業展開を考える
- ・ 子供の考えを生かしてまとめる
- ・ その日の学びを振り返る
- ・ 新たな学びに目を向けさせる

対話的な学び

- ・ 思考を交流させる
- ・ 交流を通じて思考を広げる
- ・ 協働して問題解決する
- ・ 板書や発問で教師が子供の学びを引き出す



深い学び

- ・ 資質・能力を焦点化する（つきたい力を明確にする）
- ・ 単元や各授業の目標を把握する
- ・ ねらいを達成した子供の姿を具体化する
- ・ 教材の価値を把握する
- ・ 単元及び各時間の計画を立てる
- ・ 目標の達成状況を評価する

日々の授業の中で実践していることも多いかと思いますが、さらなる授業改善の手助けになればと思います。

胆振教育研究所では、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業づくりについて研究しています。ホームページには「明日からできる主体的・対話的で深い学びの授業実践」も掲載していますので、授業改善の参考にいただければと思います。



理論研究QRコード